

IEEE1394 & USB 2.0 HARD DISK UNIT

LHD-EAxxFU2シリーズ
LHD-HAxxFU2シリーズ

HDユニット

ユーザーズマニュアル

Logitec

目次

取扱い上のご注意	1
付属品の確認	3
ごあいさつ	6
ご注意	6
第1章 製品のご紹介	8
1.1 製品概要	8
1.2 使用環境について	10
1.3 各部の名称と機能	12
1.4 設置方向について	14
1.5 接続の前に	15
第2章 接続と取り外し方法	18
2.1 接続について	18
2.1.1 IEEE1394 接続の場合	18
2.1.2 USB 接続の場合	21
2.2 ドライバのインストール方法	24
2.2.1 Windows 98 の場合	24
2.2.2 Mac OS 8.6 の場合	26
2.3 動作の確認	28
2.4 本製品の取り外しについて	29
第3章 ハードディスクのフォーマット	31
3.1 Windows XP, 2000 でのフォーマット手順	31
3.2 Windows Me, 98 でのフォーマット手順	32
3.3 Mac OS X でのフォーマット手順	33
3.4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順	34
第4章 パスワードの設定	39
第5章 補足事項	45
5.1 PC 電源連動機能について	45
5.2 Macintosh での起動ディスクの設定	46
5.3 トラブルシューティング	48

取扱い上のご注意

本製品を正しく安全に使用するために

- ・本書では製品を正しく安全に使用するための重要な注意事項を説明しています。必ずご使用前にこの注意事項を読み、記載事項にしたがって正しくご使用ください。
- ・本書は読み終わった後も、必ずいつでも見られる場所に保管しておいてください。

表示について

- ・この「取扱い上のご注意」では以下のような表示(マークなど)を使用して、注意事項を説明しています。内容をよく理解してから、本文をお読みください。



この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が死亡または重傷を負う危険性がある項目です。



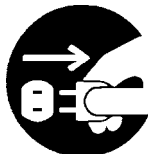
この表示を無視して取扱いを誤った場合、使用者が障害を負う危険性、もしくは物的損害を負う危険性がある項目です。



三角のマークは何かは注意しなければならないことを意味します。三角の中には注意する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは感電に注意しなければならないことを意味します。



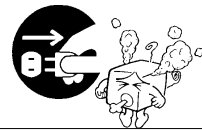
丸に斜線のマークは何かを禁止することを意味します。丸の中には禁止する項目が絵などで表示されます。例えば、左図のマークは分解を禁止することを意味します。



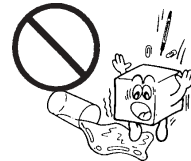
塗りつぶしの丸のマークは何かの行為を行わなければならないことを意味します。丸の中には行わなければならない行為が絵などで表示されます。例えば、左図のマークはACアダプタをコンセントから抜かななければならないことを意味します。

警告

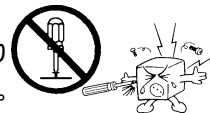
万一、異常が発生したとき。
本体から異臭や煙が出た時は、ただちに AC アダプタをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



異物を入れないでください。
本体内部に金属類を差し込まないでください。また、水などの液体が入らないように注意してください。故障、感電、火災の原因となります。
万一異物が入った場合は、ただちに電源を切り販売店にご相談ください。



分解しないでください。
ケースは絶対に分解しないでください。感電の危険があります。分解の必要が生じた場合は販売店にご相談ください。



正しい電源で使用してください。
ACアダプタは、AC100Vのコンセントに接続してご使用ください。

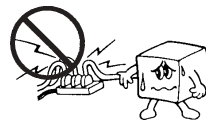


ケーブル類を大切に。
USB ケーブル、IEEE1394 ケーブルまたは AC アダプタのケーブルは破損しないように十分ご注意ください。ケーブル部分を持って抜き差ししたり、ケーブルの上にものを乗せると、被覆が破れて感電 / 火災の原因となります。



注意

ACアダプタは、なるべくコンセントに直接接続してください。タコ足配線や何本も延長したテーブルタップの使用は火災の原因となります。

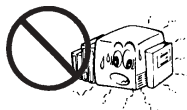


ケーブル類は必ず伸ばした状態で使用してください。束ねた状態で使用すると、過熱による火災の原因となります。



注意

本体の周りを本などで覆わないで下さい。過熱による火災、故障の原因となります。



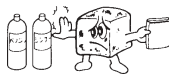
高温・多湿の場所、長時間直射日光の当たる場所での使用・保管は避けてください。また、周辺の温度変化が激しいと内部結露によって誤動作する場合があります。



本体は精密な電子機器のため、衝撃や振動の加わる場所、または加わりやすい場所での使用 / 保管は避けてください。



本体が汚れた場合は必ず電源を切ってから、柔らかい布に水または中性洗剤を含ませ軽くふいてください。(本体内に垂れ落ちるほど含ませないように気をつけてください。)揮発性の薬品(ベンジン・シンナーなど)を用いますと、変形・変色の原因になる事があります。



付属のACアダプタは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。また、本製品を長期間使用しない場合は、ACアダプタはコンセントから抜いておいてください。



付属品の確認

HDユニット	1台
ACアダプタ	1個
USBケーブル(USB 2.0 High-Speed対応:1m)	1本
IEEE1394ケーブル(6ピン-4ピン)	1本
縦置き用スタンド	1セット
横置き用ゴム足	1シート
ハードウェア仕様一覧表	1枚
「LogitecWare」CD-ROM	1枚
B's Crew FW ユーザー登録カード	1枚
保証書/ユーザー登録カード	1枚
HDユニット・ユーザーズマニュアル	本書

本製品は電子精密機器です。輸送時には必ず付属の梱包材をご使用ください。

ごあいさつ

この度は弊社製品をお買い上げいただきまして、誠に有り難うございました。本書は製品に関する設定 / 接続方法、機能 / 仕様等についてのご説明をいたしますので、ご使用前に必ずご一読いただきますようお願いいたします。

弊社製品によって、お客様のパソコン環境がより便利なものとなりますよう心からお祈りいたします。

ご注意

本書の一部または全部を弊社に無断で転載することは禁止されております。

本書の内容については万全を期しておりますが、万一ご不審の点がございましたら、弊社テクニカルサポートまでご連絡くださいますようお願いいたします。

本製品および本書を運用した結果による損失、利益の逸失の請求等につきましては、一 項に関わらず弊社ではいかなる責任も負いかねますので、あらかじめご了承ください。

本書に記載されている機種名、ソフトウェアのバージョンなどは、本書を作成した時点で確認されている情報です。本書作成後の最新情報については、弊社テクニカルサポートまでお問い合わせください。

本製品の仕様、デザイン及びマニュアルの内容については、製品改良などのために予告なく変更する場合があります。

本製品に保存したデータが、ハードウェアの故障、誤動作、その他どのような理由によって破壊された場合でも、弊社での保証はいたしかねます。万一に備えて、重要なデータはあらかじめバックアップするようお願いいたします。

弊社は、本製品の仕様 お客様の特定の目的に適合することを保証するものではありません。

本製品は、人命に関わる設備や機器、および高い信頼性や安全性を必要とする設備や機器（医療関係、航空宇宙関係、輸送関係、原子力関係等）への組み込み等は考慮されていません。これらの設備や機器で本製品を使用したことにより人身事故や財産損害等が発生しても、弊社ではいかなる責任も負いかねます。

本製品は日本国内仕様ですので、本製品を日本国外で使用された場合、弊社ではいかなる責任も負いかねます。また、弊社では海外での（海外に対してを含む）サービスおよび技術サポートを行っておりません。

* MS[®]、Windows[®]は米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国での登録商標です。Macintosh、Mac OSは米国アップルコンピュータ社の登録商標です。本書に記載されているパソコンの機種名等は各社の商標または登録商標です。

廃棄・譲渡時のデータ消去に関するご注意

ご利用の弊社製品を廃棄等される際には、以下の事項にご注意ください。

パソコン及び周辺機器を廃棄あるいは譲渡する際、ハードディスクに記録されたお客様のデータが再利用され、データが流出してしまうことがあります。

ハードディスクに記録されたデータは、「削除」や「フォーマット」を行っただけではデータが消えたように見えるだけで、特殊なソフトウェアなどを使うことにより、消したはずのデータが再生されることがあります。

ハードディスク上のデータが第三者に流出することがないよう全データの消去の対策をお願いいたします。また、ハードディスク上のソフトウェアを消去することなくパソコン及び周辺機器を譲渡しますと、ソフトウェアライセンス使用許諾契約に抵触する場合がありますのでご注意ください。

ハードディスクを廃棄する場合

ご使用のハードディスクを廃棄する場合は、お住まいの地方自治体で定められた方法で廃棄してください。

なお、弊社では、ハードディスク上のデータを電氣的に強磁気破壊方式()により完全に消去するサービスを有償にて行っております。重要なデータを消去後に廃棄する場合などにご利用ください。

磁気記録装置に強磁界を印加し、物理破壊を伴わずに磁気データを破壊します。磁気ヘッドを制御するためのサーボ情報や駆動用のマグネットの磁気も消去しますので、ディスクを再利用することはできません。

データ消去サービスの詳細については、弊社ホームページ(<http://www.logitec.co.jp>)をご参照ください。また、お問合せは、下記窓口までお願い致します。
(技術的なお問合せは弊社テクニカルサポートにお願いします。)

〒396-0192 長野県伊那市美すず六道原 8268

ロジテック株式会社 ロジテックサポートソリューション

データ消去サービス係 5番受入口

TEL : 0265-74-1423 / FAX : 0265-74-1403

参考

付属のLogitec HDサポートディスク内に収録されている、「ディスクデータレイサ」(Windows環境のみ)を使用することで、ハードディスク上のデータを全て消去する事ができます。消去後に再フォーマットすることにより再利用が可能です。消去されたデータは、パソコンでは読み取り不能となります。ただし、ソフトウェアによる消去の場合、専門機関等の特殊な環境でもデータが復元されないことを、保証するものではありません。

第1章

製品のご紹介

1.1 製品概要

本製品は IEEE1394&USB 2.0/1.1 に対応した外付型ハードディスクユニットです。

本製品の特徴

転送モード識別表示ランプが搭載されています。本製品前面の「アクセス兼転送モード識別表示ランプ」の点灯色によって高速転送モード (USB 2.0 High-Speed または IEEE1394) と、低速転送モード (USB 1.1 Full-Speed) をひと目で見分けることができます。

パスワードロックによるシークレット機能を搭載しています。4桁までの暗証番号を登録してハードディスクをロックし、大切なデータを第三者から守ることができます。(詳しくは第4章をご参照ください。)

PC電源連動機能を搭載しているので、パソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFを自動的に行います。また、パソコンが省電力モードやスタンバイモードになった場合も、自動的に電源がOFFになり、復帰時にONとなります。

LHD-EAxxFU2 シリーズはディスク回転数が 5400rpm の、LHD-HAxxFU2 はディスク回転数が 7200rpm のハードディスクをそれぞれ採用しています。

IEEE1394、USB の両インターフェース共に接続が容易でホットプラグ (パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し) に対応しているので、必要になったときだけパソコンに接続し、バックアップや大容量データの交換などの用途に最適です。

美しさ、強さ、放熱性を兼ね備えた一体型アルミボディを採用しています。放熱性能の向上により、安定したパフォーマンスを実現しています。

IEEE1394 接続でご使用の際は、Mac OS 9.0.4 以降の環境で、「起動ドライブ」として使用することが可能です。()

ただし本製品を使用可能な Macintosh マシンのうち「Power Mac G4 (PCI Graphics)」「Power Macintosh G3 Blue and White」では起動ドライブに設定することはできません。

また、モデルによってはファームウェアアップデートを行う必要がある場合があります。詳しくは「5.2 Macintosh での起動ディスクの設定」をご参照ください。



重要なご注意

- ・ ご使用のパソコンの仕様によっては、電源連動機能がうまく働かない場合があります。その場合は背面の電源スイッチにて電源の ON/OFF を切り替えてください。
 - ・ Windows 98 (Second Editon 含む) にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ (省電力) を OFF に設定してください。
 - ・ 本製品を接続した状態でパソコンを起動する際、PC電源連動機能により、本製品の電源が ON/OFF を繰り返す場合がありますが、問題ありませんのでそのままご使用ください。
 - ・ 本製品を IEEE1394 インターフェース、USB インターフェースの両方同時に接続することはできません。
 - ・ 本製品はバスパワーでは動作しません。ご使用の際は、必ず付属の AC アダプタを AC100V のコンセントに接続して電源を供給してください。
 - ・ 付属の AC アダプタは本製品専用です。他の機器に接続して使用しないでください。
-



参考

- ・ アルミボディは熱の伝導性が高いため、本製品の動作中にボディ表面に触れると熱く感じる場合がありますが、これは異常ではありません。
 - ・ IEEE1394 はメーカーによって「FireWire」、もしくは「i.LINK」などと呼ばれることがありますが、すべて同じものをさします。本書の中では「IEEE1394」で呼称を統一します。
-

1 . 2 使用環境について

1

IEEE 1394 接続の際の使用条件

対応パソコン

本製品を IEEE1394 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべて IEEE1394 ポートを標準搭載している機種に限定されます。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ
アップルコンピュータ社	
eMac	iMac
Power Mac G5	Power Mac G4
iBook	PowerBook
Power Macintosh G3 (Blue and White)	

対応 OS

本製品を使用する場合には、以下の OS をご使用ください。すべて日本語版 OS のみに限定されます。また、パソコン本体が対応していない OS では使用することができません。

マイクロソフト株式会社

Windows XP HomeEdition/Professional
Windows Me
Windows 98 Second Edition (*1)
Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

Mac OS X 10.0.4 以降
Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2
Mac OS 8.6

*1 IEEE1394 アップデータ 要導入 (「2 . 1 . 1 IEEE1394 接続の場合」参照) Second Edition ではない Windows 98 では使用できません。

*2 Mac OS 9 以降で FireWire 2.3.3 以上を導入した環境を推奨

USB 接続の際の使用条件

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のような環境条件を満たしてはなりません。

対応パソコン

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合は、以下のパソコン本体に接続可能です。すべてUSBポートを搭載している機種に限定されます。また、High-Speedでの転送を実現するためにはパソコン本体のインターフェースがUSB 2.0に対応していなければなりません。

各社	DOS/V パソコン
日本電気株式会社	PC98-NX シリーズ

アップルコンピュータ社

eMac	iBook	iMac
PowerMac G5	Power Mac G4	
Power Macintosh G3 (Blue and White)		
PowerBook		

対応 OS

本製品を USB 2.0 / 1.1 インターフェースに接続する場合には、以下のOSをご使用ください。すべて日本語版OSのみに限定されます。また、パソコン本体が対応していないOSでは使用することができません。

マイクロソフト株式会社

- Windows XP Home Edition / Professional
- Windows Me
- Windows 98 (Second Edition 含む)
- Windows 2000 Professional

アップルコンピュータ社

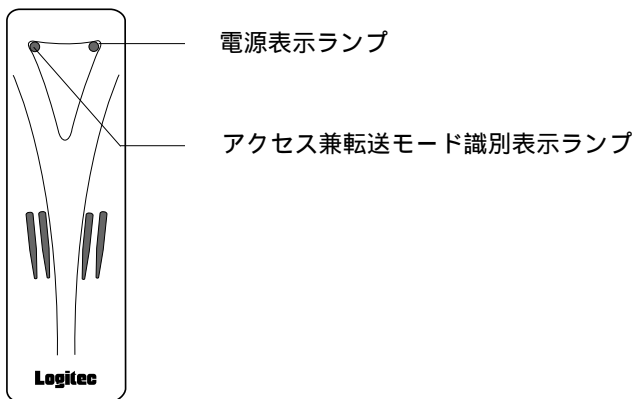
- Mac OS X 10.0.4 以降
- Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2
- Mac OS 8.6

ご注意（共通）

当社DOS/V対応製品は、一般に市販されている製品を想定して設計されています。しかし、接続確認については全ての機種を確認することは不可能ですので、代表的な製品のみで確認を行っております。そのため、本製品を使用できない、または本製品の機能を使用できないパソコンが一部に存在する可能性があることは、ご了解いただきますようお願いいたします。特に自作パソコンやショップ組立てパソコンでは、コストの問題やパフォーマンスの追求のため、想定外の部品が使用されている場合があります。このような場合、相性問題などが発生する可能性が高くなることをご承知おきください。

1 . 3 各部の名称と機能

本製品前面



電源表示ランプ

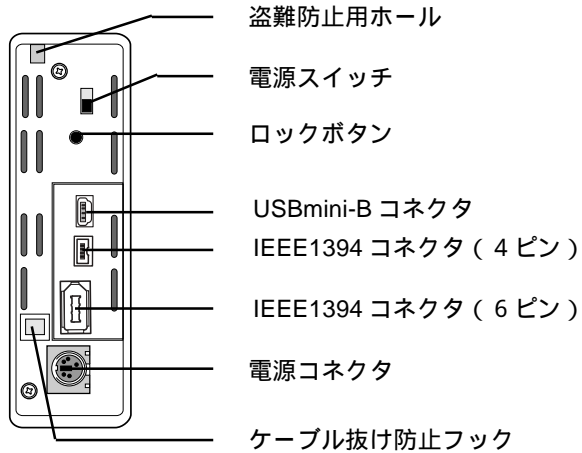
本製品の電源が ON になると電源表示ランプが青色に点灯します。

アクセス兼転送モード識別表示ランプ

IEEE1394、USB 2.0 接続時は緑色に、USB 1.1 接続時はオレンジ色にそれぞれ点灯します。また、アクセス時は IEEE1394、USB 2.0 接続時はオレンジ色に、USB 1.1 接続時は赤色に点滅します。

パスワード設定・入力時は、それぞれの状態を緑色・赤色・オレンジ色の点灯・点滅で表します。詳しくは第 4 章をご参照ください。

本背品前面

**盗難防止用ホール**

盗難防止用にワイヤなどを取り付けておくことができます。

電源スイッチ

本製品の電源をON/OFFします。電源をONの状態にすると、自動的にPC電源連動機能が有効となります。

(PC電源連動機能については「5.1 PC電源連動機能について」をご参照ください)

ロックボタン

このボタンを使用してパスワードの設定 / 解除を行います。前面のアクセス表示ランプを確認しながら操作します。詳しくは第4章をご参照ください。

USBmini-B コネクタ

付属のUSBケーブルでパソコン本体のUSBポートと接続します。

IEEE1394 コネクタ (4ピン)**IEEE1394 コネクタ (6ピン)**

どちらか片方を付属のIEEE1394ケーブルでパソコン本体のIEEE1394ポートと接続します。パソコン本体との接続に使用しなかったコネクタはIEEE1394機器を増設するときに使用します。

電源コネクタ

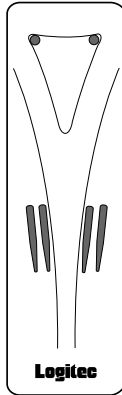
付属のACアダプタを使用してAC100Vのコンセントと接続します。

ケーブル抜け防止フック

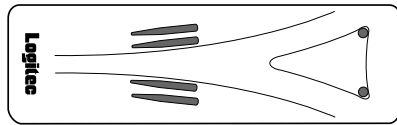
USBケーブルがコネクタから抜けるのを防止するためのフックです。

1 . 4 設置方向について

本製品は縦置き、横置きのどちらでも使用することができますが、それぞれ以下のような方向で設置してください。間違った方向で設置するとトラブルの原因となる場合があります。

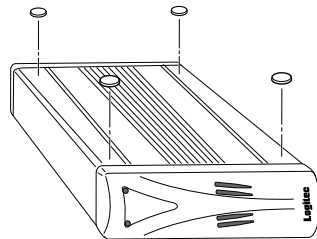
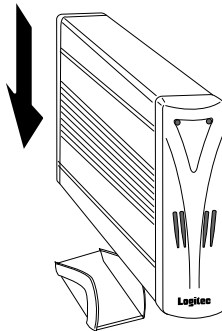


縦置きの場合



横置きの場合

縦置きの場合は、本製品付属のスタンドをご使用ください。(下左図)横置きの場合は、底面の4箇所に付属のゴム足を貼付けしてください。(下右図)



上図は底面を上にするため、設置方向とは逆になっていますのでご注意ください。

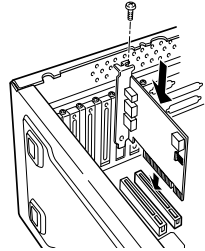
1.5 接続の前に

インターフェースボードの接続

パソコン本体にIEEE1394ポートまたはUSB 2.0ポートがない場合は、別売のインターフェースボード（PCIバス用インターフェースボード）もしくはCardBus対応インターフェースカードが必要になります。

この場合、本製品の接続を行う前にインターフェースボードのマニュアルにしたがって、接続やドライバのインストール等を行っておいてください。（本書の第2章以下はすべてこれらの作業が終了していることを前提としています。）

本製品をUSB 1.1ポートに接続して使用する場合はこの作業は不要です。その場合の最大転送速度はFull-Speed（12Mbps）までとなります。



IEEE1394 インターフェースボードは、以下の型番で弊社から発売されているものを推奨します。

PCIバス用 IEEE1394 インターフェースボード

型番	バス	備考
LHA - 1394V	PCI	インターフェースボード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000対応
LVC - MG 2L		ビデオ活用キット Windows Me, 98 SE, 2000対応

CardBus対応 IEEE1394 インターフェースカード

型番	バス	備考
LPM - CB 1394L	CardBus	インターフェースカード単体 Windows XP, Me, 98 SE, 2000 Mac OS 9.0 ~ 9.2.2 Mac OS X 10.1.3以降対応

USB 2.0 インターフェイスボードは、以下の型番で弊社から発売されているものをご使用ください。

PCIバス用 USB 2.0 インターフェイスボード

型番	バス	備考
LHA-USB2V	PCI	インターフェイスボード単体 Windows XP, Me, 98, 2000対応
LHA-USB2NH	PCI	インターフェイスボード単体 Windows、Mac OS X 10.2.8以降対応

CardBus 対応 USB 2.0 インターフェイスカード

型番	バス	備考
LPM-CBUSB2HA	CardBus	インターフェイスカード単体 Windows、Mac OS X 10.3以降対応

Point

ポイント

これらオプション品のお求めは、お買い求めいただいた販売店またはロジテックの安心オンラインショップ「ロジテックダイレクト」にてお求め下さい。

ロジテックダイレクトホームページ

<http://www.logitec-direct.jp>

本製品の出荷時フォーマット形式についてのご注意

本製品は出荷時にDOS (FAT32) 形式でフォーマットされていますので、パソコンに接続すればすぐにアクセスすることができますが (Macintosh の環境を除く) なるべく各 OS に最適なフォーマット形式で再フォーマットすることをお勧めします。

本製品を Windows XP、2000 のみでご使用になる場合、NTFS 形式でフォーマットしてください。

本製品を Macintosh のみでご使用になる場合は、HFS+ (Mac OS 拡張) で初期化してください。

Windows と Macintosh の両環境で共有したい場合は DOS (FAT32) 形式で 1 パーティションの容量を 120GB 以下にしてください。 (ただし、Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 では共有できません)

その他の環境または、複数の OS でご使用になる場合は、DOS (FAT32) のままご使用ください。ただし、以下の点にご注意ください。

DOS 形式でフォーマットされたハードディスクを Macintosh でアクセスするには Macintosh 標準のユーティリティ「File Exchange」が必要です。 (Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 は未対応です。)

Macintosh 環境に接続したハードディスクを Windows 環境に再接続して、スキャンディスク (Windows 標準の検査ユーティリティ) を実行すると、必ずエラーが報告されます。このエラーは使用上問題ないものですが、これを「修復」すると Macintosh 環境で致命的なエラーが発生する場合がありますので、絶対にスキャンディスクでの「修復」は行わないでください。

Windows / Macintosh 間でのデータ交換は、あくまで一時的なデータ移動のみに留めておいてください。MacOS 本来のファイルシステムでないディスクにアクセスするため、恒久的な保存用途には適していません。また、データ以外のアプリケーションなどをこのディスクに保存することは行わないでください。

第2章 接続と取り外し方法

本章では本製品の接続と取り外し方法についてご説明します。

2.1 接続について

ここでは、IEEE1394接続で使用する場合の手順と、USB接続で使用する場合の手順を順番にご説明します。

2.1.1 IEEE1394 接続の場合

確認事項

IEEE1394 ドライバのアップデート

(Windows 98 Second Edition のみ)

Windows 98 Second Edition には IEEE1394 ドライバが標準添付されていますが、このドライバに対してはマイクロソフト株式会社からアップデートファイルが供給されています。このアップデートを行うことによって、IEEE1394 機器の安定性とパフォーマンスが向上します。

マイクロソフト株式会社のご厚意により、このアップデートファイルは付属の「LogitechWare」CD-ROM に収録されています。そのため、Windows 98 Second Edition で IEEE1394 接続にて本製品をご使用の場合、以降の作業を行う前に、CD-ROM の以下のフォルダに保存された説明ファイル「README.HTML」をご熟読の上、実行ファイル「242975JPN8.EXE」を実行してください。

保存フォルダ : %DRIVERS%\MICROSOFT\1394

説明ファイル : README.HTML (README)

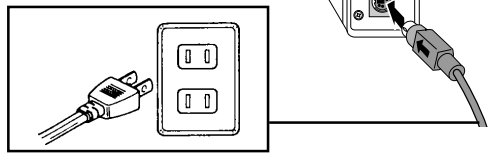
実行ファイル : 242975JPN8.EXE (242975JPN8)

接続の手順

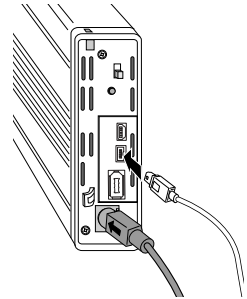
パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。このとき Windows XP, 2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrators」グループ等）としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに AC アダプタを接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続し、背面の電源スイッチを ON にしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。

AC100Vのコンセントへ



本製品に付属の IEEE1394 ケーブルを接続します。IEEE1394 コネクタには 4 ピンのもの（小さい方）と 6 ピンのもの（大きい方）がありますが、本製品には 6 ピン-4 ピンのケーブルが付属しているのでどちらを使用しても構いません。



パソコン本体の IEEE1394 ポートが 6 ピンの場合

- ・・・本製品には 4 ピンのコネクタを接続してください。

パソコン本体の IEEE1394 ポートが 4 ピンの場合

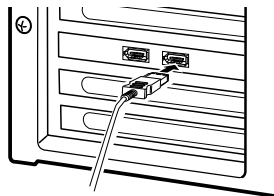
- ・・・本製品には 6 ピンのコネクタを接続してください。

ここで使用しないコネクタは、IEEE1394機器の増設を行う時に使用しますが、今は開いたままでかまいません。

2.1 接続について

2.1.1 IEEE1394 接続の場合

IEEE1394 ケーブルのもう片方のコネクタをパソコン本体の IEEE1394 ポートに接続します。アクセス兼転送モード識別表示ランプが緑色に点灯します。



パソコン本体側（6ピン）の例

以上で接続は終了です。この後の作業はOS毎に異なります。以下をご参照ください。

接続後の作業

Windows XP, Me, 98 Second Edition, 2000 には本製品を IEEE 1394 インターフェースで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に電源が供給され、ドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.3 動作の確認」へお進みください。

Maccintosh 環境でご使用の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第3章のフォーマット手順をご参照ください。

上のパソコンの図は DOS/V パソコンを元にしていますが、IEEE1394 ポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンの IEEE1394 ポートを確認して接続してください。



ご注意

本製品の後にバスパワー対応のデバイスを接続しても、バスパワーで動作しません。

2.1.2 USB 接続の場合

確認事項

接続先のパソコンに USB 2.0 拡張ポートがある場合はそちらに接続してください。

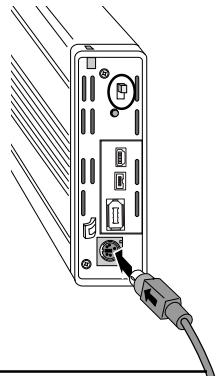
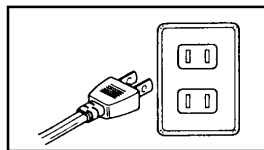
USB 2.0 拡張ポートがない場合、USB 1.1 ポートへ接続してください。その場合の転送速度は Full-Speed (12Mbps) までとなります。

接続の手順

パソコン本体の電源を ON にしてシステムを起動してください。このとき Windows XP , 2000 をご使用の場合は管理者権限をもつユーザー(例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」等)としてログオンしてください。

本製品背面の電源コネクタに AC アダプタを接続し、電源プラグを AC100V のコンセントに接続し、背面の電源スイッチを ON にしてください。前面の電源表示ランプが青色に点灯します。

AC100V のコンセントへ

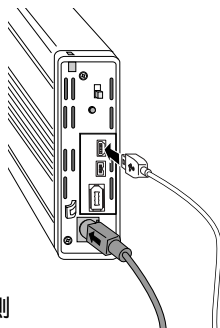


2.1 接続について

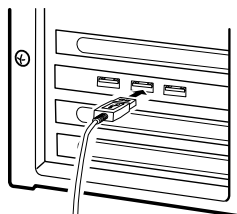
2.1.2 USB 接続の場合

付属のUSBケーブルで本製品のUSB mini-Bコネクタと、パソコン側のUSBポートを接続してください。表示ランプが緑色に点灯します。以上で接続は終了です。

下のパソコンの図はDOS/Vパソコンを元にしていますが、USBポートの位置はパソコンによって異なります。ご使用のパソコンのUSBポートを確認して接続してください。)



本製品側
小さい方のコネクタ



パソコン本体側の例
大きい方のコネクタ



重要なご注意

- ・本製品をUSB 2.0ポートへ接続する際は、ケーブルは必ず本製品付属のものか、USB 2.0対応ケーブルを使用してください。USB 1.1用ケーブルでUSB 2.0ポートに接続して本製品を使用すると、データの書き込みエラーなどの障害が発生します。
- ・USB 1.1ポートへ接続して使用する際もなるべくUSB 2.0対応ケーブルをご使用ください。

以上で、接続は終了です。

この後の作業はOS毎に異なります。次ページをご参照ください。

接続後の作業

Windows XP, Me, 2000 には本製品を USB インターフェースで使用するためのドライバが標準添付されています。そのため、本製品を接続すると自動的に電源が供給され、ドライバがインストールされます。結果を確認しますので「2.3 動作の確認」へお進みください。

Windows 98 (Second Edition 含む) の場合は、本製品付属のドライバをインストールする必要があります。「2.2 ドライバのインストール方法」へお進みください。

Macintosh 環境でご使用の場合は本製品のフォーマットを行う必要があります。第3章のフォーマット手順をご参照ください。ただし、Mac OS 8.6 をご使用で以下のようなメッセージが表示された場合は、フォーマットを行う前に「2.2 ドライバインストールの方法」を参照してドライバをインストールしてください。



2.2 ドライバのインストール方法

ここでは Windows 98 と Mac OS 8.6 を USB 接続でご使用の場合に必要な USB ドライバのインストール方法についてご説明します。

2.2.1 Windows 98 の場合

(Second Edition 含む)

接続が完了すると、本製品がプラグ & プレイで認識されて、新しいハードウェアの追加ウィザードが起動します。

「次へ」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

1. 「使用中のデバイスに・・・」が選択されている状態で

2. 「次へ」をクリック



右下のウィンドウが表示されたら、パソコン本体内蔵の CD-ROM ドライブに本製品付属の「LogitechWare」CD-ROM をセットし、「検索場所の指定」だけがセットされている状態で、下のテキストボックスに「D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98」と入力して、「次へ」ボタンをクリックしてください。(次ページのポイントもご参照ください)

1. 「検索場所の指定」だけがチェックされた状態にして

2. ここに、半角英数字で以下のように入力して

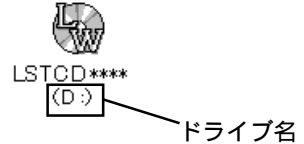
D:¥DRIVERS¥LGUSBBLK¥WIN98



3. 「次へ」をクリック

Point ポイント

ここで「D:」はCD-ROMドライブのドライブ名です。異なる場合は正しいドライブ名を指定してください。
ドライブ名はマイコンピュータを開いて、「LogitechWare」CD-ROMがセットされているアイコンの名前の一番端、または下に表示されます。



右のウィンドウが表示されま
す。

「次へ」をクリック



必要なファイルがシステムに
転送され、右のウィンドウが表
示されます。

「完了」をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。CD-ROMをドライブから取り出しておいてください。次に接続、インストール結果を確認しますので「2.3 動作の確認」へお進みください。

2.2.2 Mac OS 8.6 の場合

標準ドライバで認識されない場合はいったんコンピュータの電源を切り、本製品を取り外してから、以下の手順でUSBドライバのインストールを行ってください。

本製品を接続していない状態で、Macintoshのシステムを起動してください。

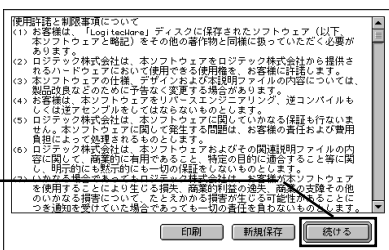
「Logitech Ware」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットして、デスクトップ上でCD-ROMを開き、次の手順でCD-ROM内のフォルダを開いてください。

「Drivers」 「LHD-EAFU2」

LHD-EAFU2フォルダを開いたら、フォルダ内に保存されている「ディスクドライバインストーラ」をダブルクリックしてください。

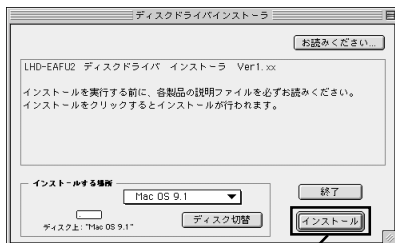
右のウィンドウが表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「続ける」をクリック



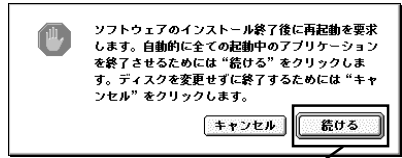
付属のフォーマットをインストールするフォルダを選択するウィンドウが表示されます。

特に支障がない場合はそのままインストールをクリック



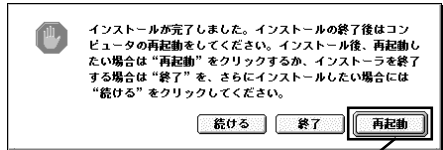
インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認のメッセージが表示されます。

他のプログラムが起動していないことを確認したら、「続ける」をクリック



必要なファイルが転送され、終了すると右のウィンドウが表示されます。

「再起動」をクリック



以上でドライバのインストールは終了です。「2.1.2 USB接続の場合」を参照して本製品の接続を行ってください。

本製品は出荷時のフォーマット形式がDOSフォーマットとなっております。このフォーマット形式はWindowsとのデータ交換を行う場合には便利ですが、恒常にMacintoshで本製品を使用する場合には適していません。接続後は、第3章をご参照の上、必ず再フォーマットを行ってください。

2 . 3 動作の確認

接続が終了し、必要な作業を行ったら、本製品が正常に認識されているかを確認します。

Windows XP の場合



「スタート」ボタン 「マイコンピュータ」をクリックします。マイコンピュータに左のようなハードディスクドライブのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。

Windows Me , 98, 2000 の場合



デスクトップの「マイコンピュータ」のアイコンをクリックします。左のようなハードディスクのアイコンが追加されていれば本製品は正常に認識され、使用可能な状態にあります。(アイコンに付く名前は OS により異なります。)

Mac OS の場合

デスクトップに以下のようなアイコンがマウントされていれば本製品は正常に認識され使用可能な状態にあります。



Mac OS X 10.0.4
以降



名称未設定
Mac OS 9.2.2まで

Point

ポイント

アクセス兼転送モード識別表示ランプによって、認識されている転送モードを確認することができます。

- ・高速転送モード (IEEE1394、USB 2.0 High-Speed)
 - 接続時 : 緑色
 - アクセス時 : オレンジ色
- ・低速転送モード (USB 1.1 Full-Speed)
 - 接続時 : オレンジ色
 - アクセス時 : 赤色

2.4 本製品の取り外しについて

本製品はホットプラグ（パソコンの電源がONの状態での取り付け、取り外し）が可能です。取り外しは以下の手順で行います。

Windows 環境の場合

本製品に保存されたアプリケーションやデータファイルが開いていないことを確認します。

タスクトレイ上の以下のアイコンをクリックします。



表示されるメッセージをクリックします。このメッセージは、接続形態・使用OS毎に異なります。以下をご参照ください。

IEEE1394 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「**** ** IEEE 1394 SBP2 Device を安全に取り出します」

Windows Me

- ・「IEEE1394 ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98

- ・「1394/USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 2000

- ・「**** ** IEEE 1394 SBP2 Device-ドライブ(D:) を停止します」

USB 接続の場合に表示されるメッセージ

Windows XP

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を安全に取り外します」

Windows Me の場合

- ・「USB ディスク - ドライブ (d:) の停止」

Windows 98 の場合

- ・「***** ** を止める : ドライブ (d:)」

Windows 2000 の場合

- ・「USB 大容量記憶装置デバイス ドライブ (d:) を停止します」

Point ポイント

- **** **には本製品採用のハードディスクの型番が入ります。型番は容量などによって異なります。
- ここで (d:) または (D:) は本製品のドライブ名ですので、環境によって異なります。

Windows XP では本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されたら取り外しが可能となります。(このメッセージはしばらくすると自動的に消えますので特に操作する必要はありません。)

Windows Me, 98, 2000 でも本製品を取り外すことのできる旨のメッセージが表示されます。「OK」ボタンをクリックしてください。

本製品の電源が自動的に OFF されます。接続に使用しているケーブルを本製品とパソコンから取り外し、AC アダプタを本製品から取り外してください。

以上で取り外し作業は終了です。

Macintosh 環境の場合

本製品を取り外す前に必ずアンマウントという処理を行います。アンマウントは以下のいずれかの方法で行います。

- 本製品のアイコンをゴミ箱のアイコンに重ねる。
- 本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、「ファイル」メニューから「片付ける」を選択する。
- 本製品のアイコンを 1 回クリックして選択状態にし、アップルキー + 「Y」キーを押す。

パソコン本体がスリープ状態になっているときや本製品内に保存されたのデータファイルにアクセスしているときには、取り外しを行わないでください。

本製品に保存されているアプリケーションやデータファイルが開かれていないことを確認してください。

第3章

ハードディスクの フォーマット

本章では、各OSごとにハードディスクのフォーマット手順をご説明いたします。フォーマットを行うと、ハードディスクの中のデータはすべて消去されます。重要なデータはあらかじめバックアップをとっておいてください。

3 . 1 Windows XP , 2000 でのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

Windows XP , 2000 では各 OS に標準のユーティリティ「ディスク管理」から行います。

ディスク管理を起動するには管理者権限をもつユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンした後に、「マイコンピュータ」を右クリックし、表示されるメニューから「管理」を選択します。

「コンピュータの管理」ウィンドウが表示されるので、コンソールツリー上で「ディスクの管理」をクリックしてください。（ここで「ディスクのアップグレードと署名ウィザード」が起動した場合は、キャンセルボタンをクリックしてください。

「ディスク管理」からのフォーマット方法については Windows のヘルプファイルをご参照ください。

Point

ポイント

本製品付属のCD-ROMに保存された補足説明ファイルには、より詳細なフォーマット手順が記載されています。必要に応じてご参照ください。（下記のファイルをダブルクリックするとブラウザ上で内容を表示することができます。）

- ・ Windows XP ¥Docs¥Hdfmtxp.htm
- ・ Windows 2000 ¥Docs¥Hdfmt2k.htm

3 . 2 Windows Me , 98 でのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

Windows Me、98 の場合、本製品のフォーマットは付属のユーティリティ「Logitec ディスクフォーマッタ」で行います。

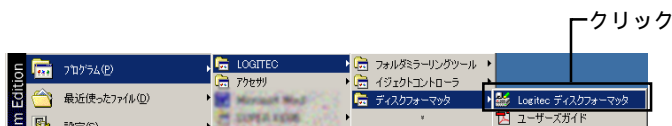
本製品付属の「LogitecWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットすると自動起動する「セットアップランチャー」から、「ディスクフォーマッタ」をインストールしてください。

1. 「ディスクフォーマッタ」のアイコンをクリックして、選択状態にします。

2. 「セットアップの起動」をクリックします。



インストールが終了したら、ディスクフォーマッタを起動します。タスクバー上の「スタート」ボタンをクリックして表示されるメニューから、「プログラム」「Logitec」「ディスクフォーマッタ」とポイントして、「Logitec ディスクフォーマッタ」をクリックしてください。(デフォルトの状態インストールした場合)



ディスクフォーマッタが起動したら、本製品のフォーマットを行います。フォーマットの手順については「ディスクフォーマッタ」のユーザーズガイドをご参照ください。



ご注意

本製品は物理フォーマットをサポートしていないため、ディスクフォーマッタの物理フォーマットに関する機能は使用できません。

3.3 Mac OS Xでのフォーマット手順

(IEEE1394、USB 共通)

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 で本製品をはじめて接続してフォーマットする場合

Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合、本製品を初めて接続すると「今セットしたディスクは Mac OS X で読み込めないボリュームが含まれています。」というメッセージウィンドウが表示されます。ウィンドウ下部にある「初期化」ボタンをクリックしてください。

「Disk Utility」が起動します。

後の手順は Mac OS X のヘルプを参照して初期化を行ってください。

Mac OS X 10.2 以降の場合

本製品は出荷時 DOS (FAT32) 形式でフォーマットされていますので、下の「本製品を再フォーマットする場合」を参照して、Mac OS 拡張にて再フォーマットを行ってください。

120GB を越える容量の本製品の場合、接続しても容量制限の問題からマウントされません。この場合も再フォーマットを実行してください。

Point

ポイント

Mac OS でフォーマット（初期化）する場合は必ず Mac OS 拡張を選択するようにしてください。「Mac OS 標準」は旧Macと互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

本製品を再フォーマットする場合

Mac OS X 10.1.5 までの場合、本製品を再フォーマットする場合も「Disk Utility」を使用します。「Disk Utility」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「Application」「Utilities」「Disk Utility」を選択してください。

Mac OS X 10.2 以降の場合は「ディスクユーティリティ」を使用します。「ディスクユーティリティ」を起動するにはメニューバーの「移動」から「アプリケーション」を選択して「アプリケーション」「ユーティリティ」「ディスクユーティリティ」を選択してください。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。（「2.3 動作の確認」参照）

3 . 4 Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

ご使用のOSがMac OS 8.6 ~ 9.2.2の場合は、接続するインターフェースにより、フォーマット方法が異なります。該当する部分をご参照ください。

IEEE1394 接続の場合

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2でIEEE1394接続時にフォーマットを行うためには、付属のCD-ROMよりフォーマットソフトウェア「B'sCrew FW」をインストールします。

フォーマットインストール手順

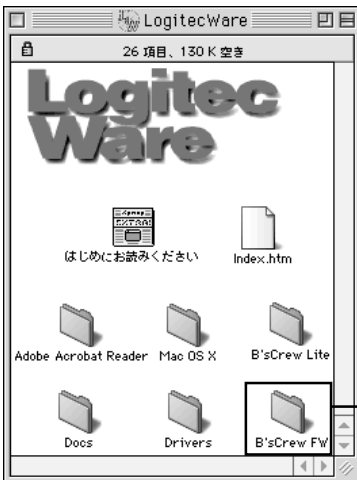
インストールの前に本製品を接続している場合はいったん取り外してください。

インストール後にコンピュータの再起動を行うので、起動しているアプリケーションを全て閉じておいてください、

Macintoshのシステムを起動してください。

本製品付属の「LogitechWare」CD-ROMをCD-ROMドライブにセットしてください。

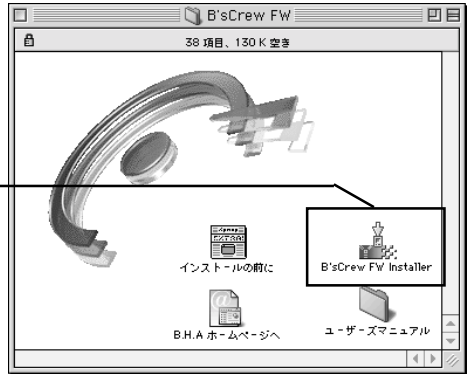
CD-ROMのウィンドウが開きますので、「B'sCrew FW」フォルダをダブルクリックして開いてください。



「B'sCrew FW」フォルダを
ダブルクリック

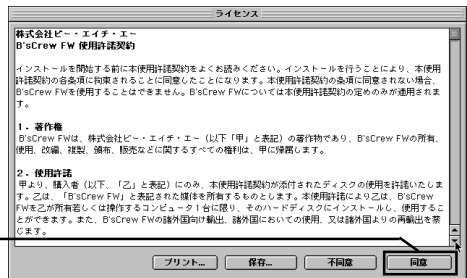
右の画面が表示されますので、「B'sCrew FW Installer」のアイコンをダブルクリックしてください。

このアイコンをダブルクリック



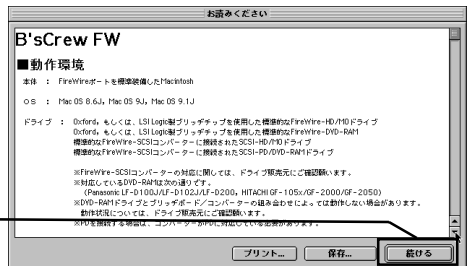
使用許諾等が表示されます。

内容を確認して、同意する場合は「同意」をクリック



注意事項等が表示されます。

内容を確認して「続ける」をクリック



右のウィンドウが表示されます。

「インストール」をクリック

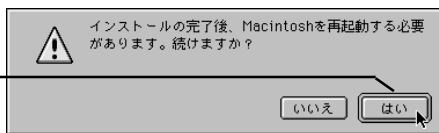


3

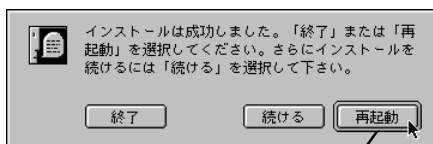
IEEE1394 接続の場合

インストールの最後にシステムが再起動されるため、確認メッセージが表示されます。

他のプログラムなどが起動していないことを確認したら、「はい」をクリック



必要なファイルが転送されます。終了すると下のウィンドウが表示されます。



「再起動」をクリック

コンピュータが再起動したらインストールは終了です。

フォーマット方法について

フォーマット方法については「B'sCrew FW」のユーザーズマニュアルをご参照ください。ユーザーズマニュアルを参照するには「B'sCrew FW」フォルダ内の「ユーザーズマニュアル」フォルダにある「B'sCrew FW Users Manual」(PDF形式)をダブルクリックして開いてください。



このアイコンをダブルクリックするとユーザーズマニュアルが表示されます。

フォーマットが終了すると、デスクトップ上にハードディスクのアイコンがマウントされます。(「2.3 動作の確認」参照)

USB 接続の場合

USB 接続で本製品のフォーマットを行う場合、OS のバージョンにより手順が異なります。Mac OS 9.0.4 ~ Mac OS 9.2.2 の場合は以下の手順を、Mac OS 8.6 の場合は次ページの手順をそれぞれご参照ください。

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 でのフォーマット手順

「アップルメニュー」から「コントロールパネル」「機能拡張マネージャ」を開き、「File Exchange」を「停止」してコンピュータを再起動してください。

パソコンが再起動すると「このディスクはこのコンピュータでは読めません。ディスクを初期化しますか?」というメッセージとともに初期化のウィンドウが表示されます。(下図参照)

ここで、必要に応じて名前を入力し、フォーマット形式に「Mac OS 拡張」を選択し、初期化ボタンをクリックします。

1. 名前を入力
2. 「Mac OS 拡張」を選択
3. 初期化をクリック



Point ポイント

フォーマット形式は「Mac OS 拡張」を推奨します。「Mac OS 標準」は旧バージョンの Mac OS と互換性を持ったフォーマット形式ですが、大容量ハードディスクのフォーマットには適していません。

参考

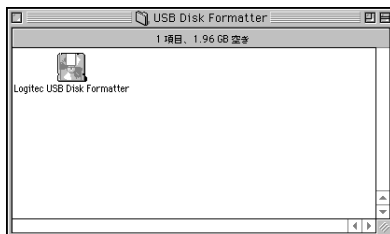
デスクトップ上の本製品のドライブアイコンをクリックし「特別」から「ディスクの初期化」をクリックしても、フォーマットを行うことは可能ですが、この方法で初期化を行う場合、フォーマット形式の変更はできません。いったん、Mac OS 拡張でフォーマット後に、再フォーマットを行う場合などにご使用ください。

USB 接続の場合

Mac OS 8.6でのフォーマット手順

Mac OS 8.6の場合はドライバインストール時に同時にインストールされた「USB Disk formatter」を使用してフォーマットを行います。(Mac OS 8.6を使用しているも標準で認識された場合は前ページの「Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2でのフォーマット手順」をご参照ください。)

本製品を接続した状態で、ドライバインストール時に作成された「USB Disk Formatter」を開き、「Logitech USB Disk Formatted」アイコンをダブルクリックしてください。



フォーマッタが起動して、右のウィンドウが開きます。

本製品はDOSフォーマットで出荷されているため、「フォーマット」の欄に「MS-DOS」と表示されます。



内容を確認したら、「ディスクの初期化」ボタンをクリックしてください。

右下のウィンドウが表示されます。必要に応じて設定等を行ってください。

ボリュームに名前を付けたい場合は、ここに入力します。

フォーマット形式をMac OS拡張にします。(推奨)



設定が終了したら、「初期化」ボタンをクリックしてください。

第4章

パスワードの設定

本製品にはパスワードロック機能がついています。パスワードを設定しておけば盗難や紛失時にハードディスクの中に保存されたデータの漏洩を防ぐことができます。

パスワードロック機能の特徴

パスワードの設定および認証は、本製品背面のロックボタンで行いますので、特別なソフトウェアなどは必要ありません。ハードディスク自身がパスワード情報を保持しますので、たとえ分解されても、データを不正にコピーされることはありません。

パスワードを設定すれば、電源が入るたびにパスワードを入力しなければならないため、設定を知らない人に使用される心配はありません。

パスワード設定時および設定後は「アクセス兼転送モード識別表示ランプ(以降アクセス表示ランプと省略します)」が状態に応じて以下のように変化します。

動作状態	アクセス表示ランプ	電源表示ランプ
通常動作時 パスワード未設定時の電源投入後	消灯、またはパソコンに接続済みの場合は、転送モードによる	点灯
設定する新しいパスワードの入力待ち	オレンジ色・点灯	点灯
設定する新しいパスワードの入力中	オレンジ色・点滅	点灯
パスワードの入力待ち	赤色・点灯	点灯
パスワード入力中	赤色・点滅	点灯
動作停止	消灯	消灯



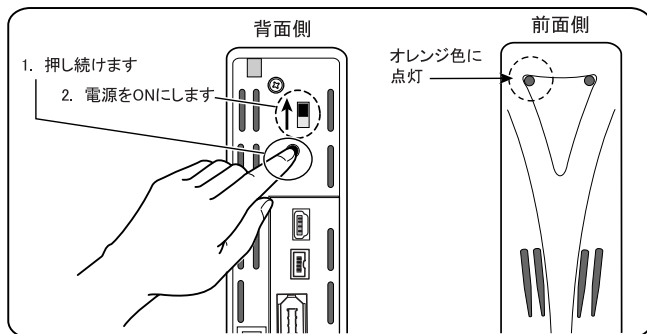
重要なご注意

- ・本書巻末にはパスワード控え欄を用意してあります。この欄に設定したパスワードを書きとめるなどしてパスワードを忘れないようにしてください。**パスワードを忘れた場合、本製品に保存されているデータには一切アクセスできなくなります。**
- ・パスワード設定後、そのパスワードを入力して本製品にアクセスできるかを何回か確認してからご使用になられることをお勧めします。
- ・パスワードを忘れた場合、弊社でも工場出荷時に戻す以外の対応はいたしかねます。その場合ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されますので十分にご注意ください。

パスワードを設定しない場合は通常のHDとしてご使用いただけます。

パスワードを新規に設定する方法

ACアダプタを接続して、背面のロックボタンを押しながら、本製品の電源をONにしてください。アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。



アクセス表示ランプがオレンジ色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

4

次に、パスワードを入力します。

パスワードは1～9までの数字を1～4桁までの範囲で設定します。

例) パスワードを「5、3、2、3」と設定する場合、

1) ロックボタンを押すとアクセス表示ランプが点滅をはじめるので、この点滅中に、5回ロックボタンを押してください。

点滅中に5回連続してすばやく押してください。間隔をおいて5回押すと、「1,1,1,1,1」と認識してしまい、本製品の電源がOFFになります。(パスワードは設定されません)

2) 数秒時間をおいて、アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、同じようにロックボタンを3回すばやく押してください。

3) 同様の手順で2、3と設定を行ってください。

4) 最後に設定を確定させるため2秒以上ボタンを押し続けます。アクセス表示ランプが緑色に点灯したらパスワードの設定は完了です。

<p>「5、3、2、3」の場合のボタンの押し方</p>	<p>5回押す..... 3回押す..... 2回押す..... 3回押す..... 長押し</p>
<p>設定中のアクセス表示ランプの変化について</p>	<p>パスワード入力中はアクセス表示ランプがオレンジ色に点滅、入力待ちの状態のときはオレンジ色に点灯します。設定中はこの点滅と点灯が繰り返されます。最後に2秒以上ボタンを押し続けると緑色に点灯し、設定が完了します。</p> <p>点滅はボタンを押した回数とは関係がありません。押した回数は設定した本人しか分からないようになっておりますので忘れないようにしてください。</p>

パスワードを設定後に本製品を使用する場合

ACアダプタを接続して本製品の電源をONにして、付属のUSBケーブルまたはIEEE1394ケーブルを使用して本製品とパソコンを接続します。

アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

設定したパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプが緑色に点灯します。これでハードディスクが使用可能な状態になります。

パスワードを誤って入力した場合は本製品の電源がOFFになります。その場合は、いったん電源スイッチをOFFにし、再度ONにして正しいパスワードを入力してください。

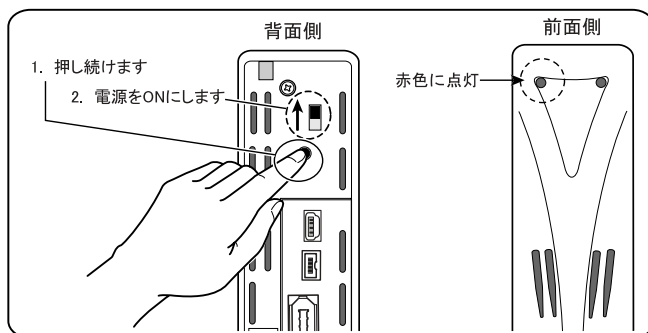


重要なお注意

- ・パスワードを設定後は、本製品の電源がONになった時に必ずパスワードを入力しなければなりません。パスワードを入力しなければ本製品にはアクセスできません。
- ・本製品はPC電源連動機能を搭載しているため、ハードディスクの電源をONにしても、すぐにパソコンに接続しないと、しばらくして自動的に電源がOFFになります。このような場合、パソコンに接続後に再度パスワードを入力する必要があります。
- ・省電力モードやスタンバイモードから復帰したときに、パソコンによって、パスワードを要求する場合としない場合があります。これはパソコン本体の省電力モードの仕様によるもので、本製品の異常ではありません。確実にパスワードロックしたい場合は、本製品の電源スイッチをOFFにしてください。

パスワードを変更する

ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源をONにしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。



アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

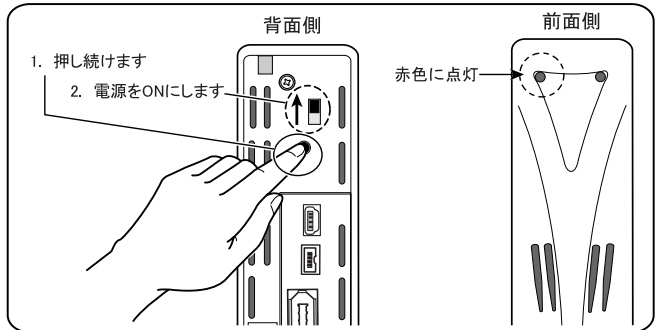
既に設定されているパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯します。

この後は「パスワードを新規に設定する方法」の手順と同じように新しいパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しして設定を確定させます。アクセス表示ランプが緑色に変化したら新しいパスワードが設定されます。

パスワードを無効にする

ACアダプタを接続し、背面のロックボタンを押しながら本製品の電源をONにしてください。アクセス表示ランプが赤色に点灯します。



アクセス表示ランプが赤色に変化したことを確認したらいったんボタンから指を離してください。

既に設定されているパスワードを入力し、最後にロックボタンを2秒以上長押しします。

アクセス表示ランプがオレンジ色に点灯したら、再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが緑色に点灯したら、パスワードが消去されます。

パスワードを忘れた場合は...

パスワードを忘れた場合は、以下の方法で設定したパスワードを解除することができます。ただし、解除と同時にハードディスクも再フォーマットされ工場出荷時の状態に戻ります。**ハードディスク内に保存されていたデータは全て消去されてしまいますので、取扱いには十分ご注意ください。**

ACアダプタを接続し、本製品の電源をONにしてください。

アクセス表示ランプが赤色に点灯します。

ここでパスワードを「10、10、10、10」と入力します。入力中はアクセス表示ランプが赤色に点滅します。

入力後アクセス表示ランプが赤色に点灯したことを確認し、入力したパスワードを決定するために、ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過すると赤色に点灯します。点灯後いったんボタンから指を離してください。

再度ロックボタンを長押しします。アクセス表示ランプが赤色に点滅し、2秒以上経過するとオレンジ色に点灯します。点灯後、ボタンから指を離します。

パスワードが消去され、ハードディスクが初期化されます。終了すると、アクセス表示ランプが緑色に点灯します。

以上でパスワードの解除は終了です。

第5章 補足事項

5.1 PC電源連動機能について

本製品はPC電源機能を搭載していますので、接続先のパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源のON/OFFが切り替わるようになっています。いったん本製品の電源をONにしてパソコンに接続すれば、後はパソコンの電源のON/OFFに連動して本製品の電源もON/OFFされます。

本製品のON/OFFは下表のように切り替わります。

動作	電源の状態
電源スイッチをONにした時	ON
起動中のパソコンに接続した時 *1	ON
接続先のパソコンの電源をONにした時 *1	ON
接続先のパソコンがスリープや省電力モードから復帰したとき *1	ON
USBケーブルまたはIEEE 1394ケーブルを外した時 *1	OFF
パソコンがシャットダウンした時 *1	OFF
パソコンが、スリープや省電力モードになった時 *1	OFF *2
電源スイッチをOFFにした時	OFF

- *1 本製品の電源スイッチがONの状態での動作になります。
- *2 省電力モードやスタンバイモードから復帰したときに、パソコンによって、パスワードを要求する場合としない場合があります。これはパソコン本体の省電力モードの仕様によるもので、本製品の異常ではありません。



ご注意

- ・パスワード入力待ちの状態の場合、本製品の電源スイッチをOFFにしない限り電源はOFFになりません。
- ・Windows 98 (Second Editon 含む) にて、本製品を接続してご使用の際、スタンバイ状態から復帰時にシステムが不安定になるような場合は、スタンバイ (省電力) をOFFに設定してください。

5 . 2 Macintosh での起動ディスクの設定

(IEEE1394 接続時のみ)

Macintosh環境でIEEE1394接続にてご使用の場合、本製品を起動ディスクとして使用することができます。ここではその設定方法についてご説明いたします。(ただし、ご使用のOSがMac OS 8.6の場合はOSの仕様により起動ディスクの設定は行えません。)

以下のモデルではパソコン側の仕様により起動ディスクに設定することができません。

- Power Mac G4 (PCI Graphics)
- Power Macintosh G3 Blue and White

以下のモデルで起動ディスクとして使用する場合、パソコン本体のファームウェアのバージョンを「2.4」以上にする必要があります。詳細は、アップルコンピュータ社のWebサイトをご参照ください。

- iMac DV
- Power Mac G4 (AGP Graphics)
- PowerBook (FireWire)

設定方法

Mac OS 9.0.4 ~ 9.2.2 までの場合

アップルメニューから「コントロールパネル」を選択し「起動ディスク」を選択してください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。

Mac OS X の場合

アップルメニューから「システム環境設定」を選択し「起動ディスク」をダブルクリックして開いてください。

本製品のシステムフォルダをクリックして選択状態にして、「再起動」ボタンをクリックしてください。



ご注意

- ・ 本製品を起動ディスクに設定する場合は、直接 Macintosh マシンに接続してください。ハブ経由での接続では動作が不安定になる可能性があります。
 - ・ インストールの際は必ずハードディスクを Mac OS 拡張にてフォーマットしてください。本製品の出荷時フォーマットである「DOS」フォーマットや「Mac OS 標準」フォーマットではシステムが正しく起動しない場合があります。これらのフォーマットでの使用はサポート対象外とさせていただきます。
 - ・ 本製品を起動ディスクに設定する場合は、必ず Mac OS 9.x または Mac OS X のインストール CD-ROM から本製品へシステムをインストールしてください。他の起動ディスクからシステムのコピーを行った場合、本製品を起動ディスクとしてご使用になれません。
 - ・ システム起動中に絶対に IEEE1394 ケーブルまたは AC アダプタを抜かないでください。
-

5.3 トラブルシューティング

本製品を接続したが認識されない。

電源スイッチの状態、電源コードを接続したコンセントの状態を確認してください。

ケーブルの接続に接触不良などがないかどうか確認してください。

ドライバは正しい手順でインストールされていますか？
本製品をハブ経由で接続している場合は、パソコンのポートに本製品だけを直接接続して試してみてください。

ご使用のOSによって使用（認識）できるファイルシステムとパーティションの容量に制限があります。以下の表で、接続先のパソコンに搭載されているOSが本製品のファイルシステムを使用可能かご確認ください。

OS	ファイルシステム		
	NTFS	FAT32	HFS
Windows 98	×		×
Windows Me	×		×
Windows XP		*1	×
Windows 2000		*1	×
Mac OS *3	×	*2	

*1Windows XP、2000 上でフォーマットする場合、32GB までしか確保できません。（Windows Me、98 上でフォーマット済みのものはそのまま認識できます。）

*2Mac OS X 10.2 以降の場合、120GB までしか認識されません。

*3Mac OS X 10.0.4 ~ 10.1.5 の場合、FAT32 形式は認識されません。

本製品の電源を入れるとアクセス兼転送モード識別表示ランプが赤く点灯し、認識されない。

パスワードロック機能により、ロックされています。正しいパスワードを入力して解除してください。

パスワードが不明な場合は本書45ページ「パスワードを忘れた場合は...」を参照して、パスワードの消去をしてください。この場合、ハードディスク内部のデータは全て失われます。

アクセス兼転送モード識別表示ランプで
高速転送モードか低速転送モードかを確認できない。

USBまたはIEEE1394のドライバは正常にインストールされていますか？アクセス兼転送モード識別表示ランプはOS上でIEEE1394、USB 2.0またはUSB 1.1のドライバが正常に読み込まれてはじめて点灯します。

本製品からシステム起動ができない。

本製品はMac OS 9.0.4以降の環境でIEEE1394接続時の場合以外は、システムを起動することはできません。また、上記の環境でご使用の場合も、起動ディスクに設定するには、いくつか条件がございます。詳しくは「5.2 Macintoshでの起動ディスクの設定」をご参照ください。

Windows XP,2000で「ディスクの管理」が起動できない。
「ディスクの管理」を起動するには、管理者権限を持つユーザー（例えば「コンピュータの管理者」や「Administrator」）としてログオンしていなければなりません。

スリープ状態から復帰できない。

パソコンのスリープ(サスペンド)状態の処理方法によりこのような現象が発生する場合があります。ご使用のパソコンによっては、パソコン本体メーカから供給されるアップデートプログラムなどによりこの現象を回避できる場合もあります。

アップデートプログラム等が用意されていない場合は、スリープ(サスペンド)機能をOFFにしてご使用ください。

本製品の物理フォーマットができない。

本製品は物理フォーマットをサポートしていません。論理フォーマット(通常のフォーマット)のみでご使用ください。

USB 接続時にデータの転送速度が遅い。

USB 2.0 のポートに正しく接続されていますか。

USB 1.1 のポートに接続されている場合、データの転送速度は Full-Speed(12Mbps) までとなります。High-Speed (480Mbps) でデータ転送を行うには USB 2.0 ポートにつなぎかえてください。

パソコン本体に USB 2.0 ポートがない場合は別売りの USB 2.0 インターフェースボード (PCI 用インターフェースボード、もしくは CardBus 対応 USB 2.0 インターフェースカード) を接続してドライバのインストールを行ってから、接続しなおしてみてください。

特定のソフトウェア (ディスク修復ツールなど) で

本製品を使用できない。

一部のユーティリティソフトウェアでは、USB のようなホットプラグ対応のインターフェースで接続したハードディスクを動作対象としていない場合があります。ソフトウェアメーカーに問い合わせ、そのソフトウェアが USB 接続のハードディスクを動作対象としているかどうかを確認してください。

Mac OS 8.6 の環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

(USB 接続時のみ)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下のファイルを削除してください。

Logitech USB-C2 Shim

Logitech USB-C2 Driver

Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 の環境で

本製品のドライバをアンインストールしたい。

(IEEE1394 接続時のみ)

システムフォルダの機能拡張フォルダにコピーされた以下の
ファイルを削除してください。

B'sCrew FW Driver

その他：弊社ホームページについて

弊社ではインターネット上にホームページを開設しています。ホームページにはソフトウェアのダウンロードコーナーや、各種製品に関するQ&Aコーナーがあります。また、「サポート情報」では「お問い合わせ用紙」や「修理依頼書」などが、PDF形式でダウンロード可能になっていますのでご活用ください。

ホームページアドレス：<http://www.logitech.co.jp/>

本製品の Mac OS 8.6 ~ 9.2.2 用 IEEE1394 ドライバに関するお問い合わせについて

本製品付属の Macintosh 用 IEEE1394 ドライバ「B'sCrew FW Driver」に関するお問い合わせは、開発元である株式会社ビー・エイチ・エーで承っています。

お問い合わせ先は以下の通りです。お問い合わせの際には必ず B'sCrew FW Driver のシリアルナンバーをご用意ください。

「株式会社 ビー・エイチ・エー テクニカルサポートセンター」

お問い合わせ電話番号 : 06-4861-8235

受付時間：月～土曜日 10:00 ~ 17:00

(夏期・年末年始特定休業日、祝祭日を除く)

FAX でのお問い合わせ番号 : 06-6378-3336

FAX については、ご回答までにお時間がかかる場合があります。

パスワード控え欄

設定したパスワードを忘れると、ハードディスクに保存したデータにアクセスできなくなります。この欄にパスワードを書きとめて忘れないようにしてください。

パスワード

--	--	--	--

パスワードを忘れた場合は、パスワードを解除することにより再度本製品にアクセスできるようになります。ただし、**パスワードを解除する際、ハードディスクは再フォーマットされ保存されているすべてのデータは消去されます**のでご注意ください。詳しくは「第4章 パスワードの設定」の「パスワードを忘れた場合は...」をご参照ください。